

別紙 発表者（令和6年度前期チャレンジャー）

【敬称略、五十音順】

【江藤 緑】
既存施設を有効活用した“純水”によるキャッシュレス洗車ステーション「GREEN」の運営

【事業の概要】

商業施設やコインパーキング、空き地などを有効活用し、“純水”を使用した高品質な洗車場の運営。

【取り組むきっかけ】

洗車可能な場所の減少を痛感し、既存施設を有効活用した洗車場を設置するとともに“純水”を使用して運営することで、車を大切にする人々に向けた洗車環境を提供したいと考えたこと。

【大坪 小奈美】

セカンドライフを考えるミドル世代に向けた家庭菜園サポート事業の提供

【事業の概要】

家庭菜園での農作業により自身と向き合うことを通じた、心身の不調の改善サポートと、自分らしい人生の再設計を支援するサービスの提供。

【取り組むきっかけ】

多忙な生活で体調を崩していた社会人時代に、家庭菜園での農作業により健康を回復し、将来のことを考えるきっかけになった自身の経験から、同じ悩みを抱えるミドル世代の助けになりたいと考えたこと。

【北村 匠】

看護師が付き添う外出支援サービス「ナースモバイル」の提供

【事業の概要】

医療的ケア児や医療依存度が高い高齢者など、医療的サポートが必要な人々に向けた、看護師の付き添い支援の下で安全・安心な外出を可能にするサービスの提供。

【取り組むきっかけ】

看護師として働く中で、医療依存児の増加や高齢化社会の進展により、登校支援のニーズや専門的な医療搬送が高まっていると感じたこと。

<p>【越地 浩氣】 大山発「下り」専用レンタサイクルサービスの提供</p>
<p>【事業の概要】 大山に来た観光客が帰る際に地域の店に気軽に立ち寄ることができる、大山山頂から伊勢原駅までの下り専用レンタサイクルサービスの提供。</p> <p>【取り組むきっかけ】 自身が生まれ育った伊勢原の町をレンタサイクルで散策し、優れた地域資源があることを知った経験から、多くの人に伊勢原の良さに触れてもらうことで、大山エリアを活性化したいと考えたこと。</p>
<p>【佐藤 将輝】 相続負担を減らす家族の対話づくりサービスの提供</p>
<p>【事業の概要】 家族のコミュニケーションを促進し相続の心理的負担を軽減する、自分史作成やインタビューなどのコミュニケーションサポートサービスの提供。</p> <p>【取り組むきっかけ】 国の相続支援事業に関わった自身の経験から、生前に家族が対話する難しさを痛感し、明るい気持ちで家族間の対話を促すサービスが必要だと考えたこと。</p>
<p>【高橋 大地】 VRレンタルスタジオ「BinaTerra（バイナテラ）」の運営</p>
<p>【事業の概要】 VR動画制作支援機能付レンタルスタジオの運営。</p> <p>【取り組むきっかけ】 自身が制作したVR技術を用いた人材育成ツールが評価され、VR技術が様々な社会課題の解決策となる可能性を実感し、大学等が多く所在しイノベーションの可能性を有する県央地域において、VRコンテンツ制作のクリエイターやエンジニアを支援したいと考えたこと。</p>
<p>【田村 さやか】 薬剤師による漢方を用いた未病改善サービス「FUWARI（フワリ）」の提供</p>
<p>【事業の概要】 会社員の未病改善を、薬剤師が漢方を活用してサポートする、企業向け福利厚生サービスの提供。</p> <p>【取り組むきっかけ】 医療現場で働く中「病気になるまで何もしない」会社員が多いことを痛感する一方で、自身の長年の不調が漢方で改善したことから、漢方の考え方を通して未病改善の重要性を広めたいと考えたこと。</p>

<p>【中村 宣人】 eスポーツを活用したシニア世代向けサービス「e元気クラブ」の運営による、リハビリテーションとコミュニティ交流の場の提供</p>
<p>【事業の概要】 シニア世代の健康寿命を延ばし社会的なつながりを促進する、eスポーツプログラムを活用した、身体と心をケアするサービスの提供。</p> <p>【取り組むきっかけ】 自身がミドル・シニア世代となり、今後の人生を考える際に避けては通れない「介護」という問題に対し、健康寿命を維持することが重要だと考えたこと。</p>
<p>【中村 美也】 企業の成長を支えるバックオフィス支援サービス「Re Concierge(リ・コンシェルジュ)」の提供</p>
<p>【事業の概要】 企業の成長に必要なバックオフィス（人材採用・教育・定着、集客支援、補助金等資金調達）支援サービスの提供。</p> <p>【取り組むきっかけ】 ベンチャー企業のバックオフィス構築に携わった際、人材不足や業務の非効率さに直面し、バックオフィスの効率化をワンストップで支援するサービスが必要だと考えたこと。</p>
<p>【山口 裕史】 県央地域の空き家・空き室を有効活用する水耕栽培と木質バイオマス燃料の販売を組み合わせた「生み出す、ふうど、エネルギー」事業の提供</p>
<p>【事業の概要】 県央地域の地域活性化と食・エネルギーの地産地消を目指す、空き家・空き室を活用した水耕栽培と木質バイオマス燃料販売事業。</p> <p>【取り組むきっかけ】 自身が居住する県央地域の人口減少と良好な環境の維持に危機感を持ち、定住者の増加や地域活性化、食料やエネルギーの地産地消のため、地域内で経済が循環するシステムをつくりたいと考えたこと。</p>